

ご あ い さ つ

国字式速記法の学習を始めるに当たって

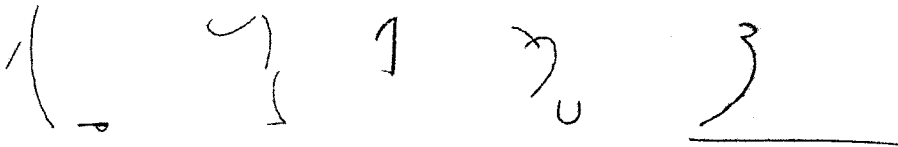
このためは国字式速記習得の意を決して御入学になり本日



別便をもちまして教材をお送りいたしました。速記完成の



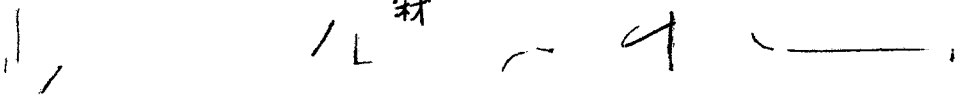
大切なることは未習者の自我の入らないこととその一つであります。



す。要するに指導に基づきしかも熱心に、できれば短期間に



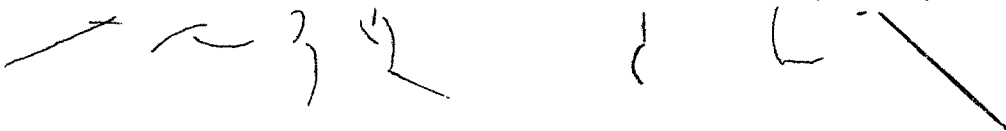
完成することです。大体教にあることの習熟が必要であります



か、3分の1で完成する方法は添削を主眼としての並練習であり



ます。次に新なる練習方法を示しました。教材を参考に御努力を

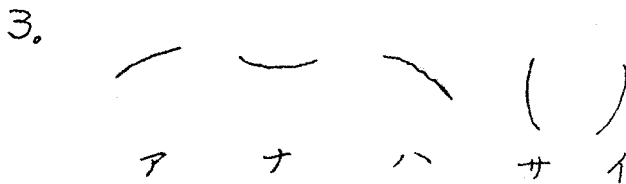
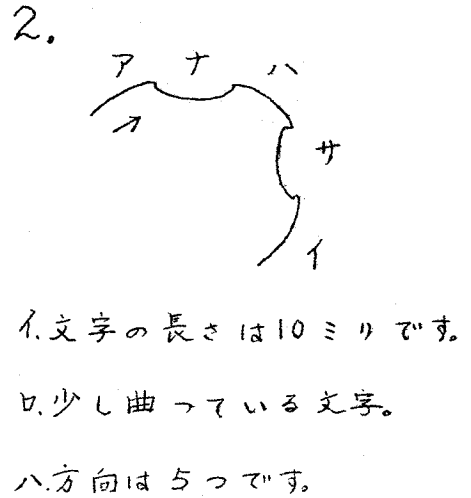
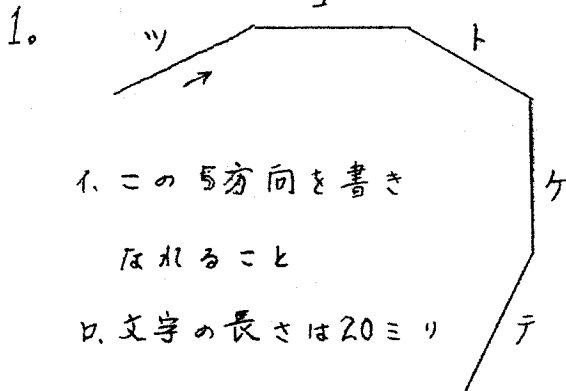


お祈りいたします。



基本文字練習方法

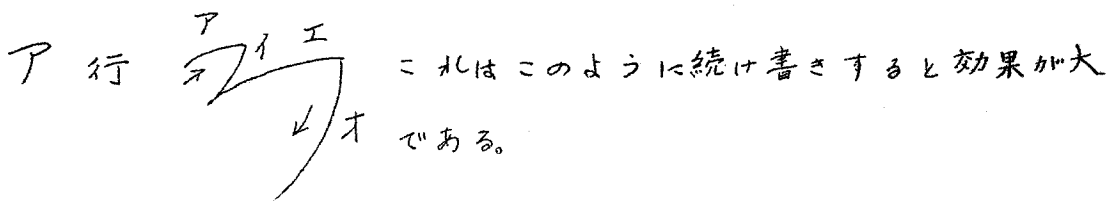
書く方向(5方向)



分けて書けば上のようになります。

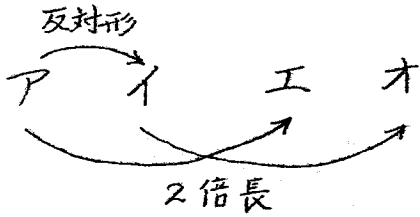
4. 基本文字(大和文字)の習得方法

教材によるのもよいが次の方法だと数分の1で習得できます。ひと通り習するまで次の方法によって下さい。その後教材で多くを練習するとよい。

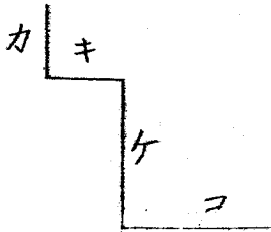


文字説明

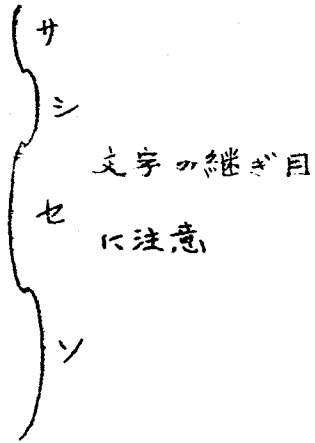
アの字の反対(如大和文字ではイ)の字となり
 アイの二倍の長さが エオとほり
 ます。



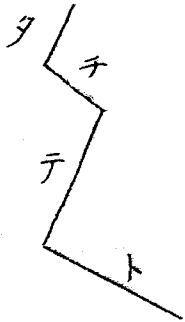
カ行



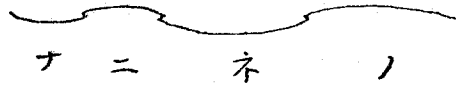
サ行



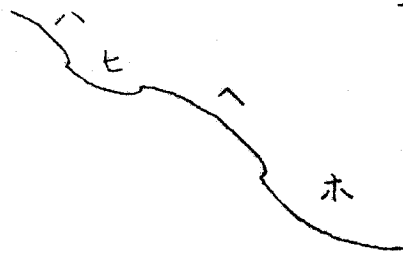
タ行



ナ行



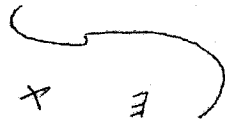
ハ行



マ行



ヤ行



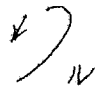
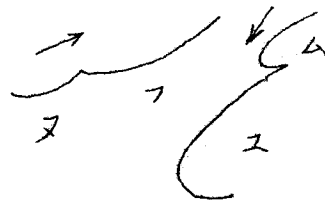
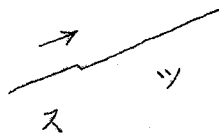
ラ行



ウ 段は



ウ × 2 = ク のようになっています。
 書く方向は → 印による。



以上の練習で大和文字習得完了。

注、暇をつくって教材Ⅰに基づきなるべく多く練習して下さい。

添削指導について

Ⅰ 基本文字の習得(正しく書くことに重点をおく)

2 段の理解

同一文字を書き段(高*)を異にすることによって効果的な読みを定めてある。

3 文章を書く

濁音字その他を指導します。

4 速記法

国字式の速記法は進歩している。これを骨折らずして知らず知らずの間に習得しうる指導をいたします。

5 早書きの練習

これは後のことで1から4までを合理的にしかもみっちりやるとよい。

速記と練習

速記上達は1にも2にも練習であるが、その練習は合理的なるを要し合理的とは自己流を出さぬこと。それには通学かそれと異なるなき指導を受けねばよい。

^私は貴下が教材にのみ力を入ねるでなく添削指導に励まねることを祈ります。

創案者 国字寿光